

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 10月 20日

事業所名 本厚木教室

保護者等数(児童数) 60 回収数 45 割合 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42件	2件	0件	1件		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	39件	2件	0件	4件	・ABAの詳しい支援方法はわからないですが、職員の専門性にはばらつきはあるかと思う ・時折職員都合で複数セラピーになっているため、頻度が高くなるようであれば職員補充も検討してもらいたい ・若い先生も積極的に勉強して下さっている姿が伝わる	・空いている時間での研修やケース会議などを実施し、専門性を図っていきます ・職員配置の数は安定できるように定期的にシフトなどの工夫をしています
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34件	3件	2件	4件	※無回答2 ・事業所内は問題ないが入り口前に階段あり、足の不自由な人の利用が難しそう。 ・急な階段、狭い玄関での情報交換は配慮があるとは言えない気がする ・室内はバリアフリー化されているが、長い外階段あり	・ドアの開閉を極力小さくし、スペースの確保ができるようにしていきます ・階段は手すりなどを使用するように声掛けしていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	42件	件	件	3件	・スペースは狭いと思う	不必要なものは置かず、なるべくスペースを広く使えるようにします
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	43件	2件	件	件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	43件	1件	件	件	※無回答1 ・1人1人、よく見てくれている	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	43件	1件	件	1件	・指導員によってばらつきがあるように感じることがある ・色々なカリキュラム、プログラムを取り入れてくれて、いろいろ能力が伸びている	・データをより詳しく共有し、連絡帳や業務日報の確認も徹底していきます
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	38件	5件	件	2件		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15件	2件	12件	16件	・不要だと感じる	
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	43件	2件	件	件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	44件	件	件	1件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	22件	5件	13件	3件	※無回答1 ・もし家庭でもできることがあれば教えてほしい ・毎回の振り返りで教えてもらってる	・フィードバックの時間に家庭でやっていただきたいことを具体的にのお伝えできるようにしていきます
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	45件	件	件	件	・家では見れないお友達との関わりを丁寧に教えてくれる ・すごい細かい部分まで見てくれている ・授業後に様子を教えてくれ、何ができていて何を延ばすべきかわかる	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43件	1件	1件	件	・面談とてもありがたい ・半年に1度面談を行い、支援計画の見直しなどありがたい	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7件	6件	20件	12件	・コロナが落ち着き、何かあれば協力する	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	43件	1件	件	1件		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43件	2件	件	件	・本人を配慮しながら進めてくれる	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19件	6件	7件	13件	・就学セラピーを開催してもらえ、ありがたい	
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	42件	件	件	3件			

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	25件	5件	1件	14件		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13件	6件	1件	24件		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	43件	1件	1件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとでらびあさんに通いたいと言っている ・いつもニコニコで通っている ・日々できることが増えて嬉しい ・気分にもうはあがあるが、おおむね楽しみにしている ・来所するのが楽しみで、成長も感じられている ・最初は泣いていたが、今は「行く」と楽しみにしている 	
	23	事業所の支援に満足しているか	45件	件	件	件	<ul style="list-style-type: none"> ・通所してから出来なかったことが出来るようになった ・子供が取り組みやすいプログラムを毎回変えながらやってくれるので満足してる ・こちらの要望も取り入れてもらえてる ・毎回丁寧に説明、アドバイスしてもらえて頼りになる ・毎回指導員もだいたい固定で、カリキュラムも狙いもきちんと考えてくれている ・できることが増えた実感が本人の中にあると思う ・丁寧に取り組んでくれているのがわかる 	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 10月 20日

事業所名 本厚木教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		unnecessaryなものは置かないように、スペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切であるか		○	シフトなどの調整はしている	・急な休みが入ると補填できる数はいない ・受け入れる子どもの人数に制限をかけていき、余裕のある状態を作る
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			・利用児によって視覚提示を使用している ・部屋内のドアの開閉は指導員がするように徹底している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			・時間があるときに、床やエアコンなどの清掃もし、清潔さを保つようしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	利用児に対しては、データと一緒に共有事項をメモとして残している	・空き時間がほとんどないため、会議する時間が取れない
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	苦情・相談の窓口は契約時に説明している(外部機関を使用しても良いこと含め)	・現在、第三者からの評価・意見が出ていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		市内で実施されている研修はできる限り受講している	・職員に余裕がないために、研修をする機会がほとんどない
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		データのファイルと同じところに支援計画と一緒にいれ、その都度確認できるようにしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		様子を踏まえてデータとして一緒に記入し、プログラムを共有している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		データ化し、定期的に確認している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		年長児のみ、集団プログラムを定期的実施している 保護者からの要望が社会性やコミュニケーション面であると、支援計画に入れている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		個別ファイルにメモを残すこともやっている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議に出席したことがない相談支援事業所の見学などは受け入れており、その際に情報交換をしている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の療育相談課と連携して、情報交換をしている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望があった際に、訪問・電話でのやり取りを行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望があった際にやり取りをしている ・保護者から書類を求められた場合は作成している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		市で行われている連絡会議に年1回参加し、情報交換をしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流する必要はないと感じている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	実施されているのか知らない	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	ホームセラピーの希望があった家庭には、連絡帳を使用しながら行っている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者が集まるスペースと人員の確保ができず実施していない	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	ブログは実施しているが、更新ができていない	・日々のセラピー写真を撮るようにし、更新するようにする ・毎月何日等と決めて更新するように工夫する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者対応では、保護者によって使う言葉を選んだり、メモに書きながら説明をしたりしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事がないために、招待していない	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	支援計画ではなく、契約書に記載している。	